

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援室STEP			
○保護者評価実施期間	令和7年7月16日 ～ 令和7年7月25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	令和7年7月20日 ～ 令和7年7月21日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年7月30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	（放デイ事業開始1年目でもあり）新しくきれいな建物、広い指導室、外の遊び場といった環境が充実している。 現在のところこどもの人数が多い日でも6名程度であり、のびのび過ごすことができる他、支援が行き届きやすい。	こどもの人数に対する職員の比率を調整している。 自由時間は、一人ひとりが適切に時間を過ごせるよう目を配り、環境づくりに配慮している。	活動に応じて室内の環境調整を図ることなど、支援における環境調整の重要性を職員間で共有する。 室内での余暇時間を適切に過ごすうえで、あるといいと思われる教材・おもちゃなどを整備する。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業開始1年目であり、新しい職員が多い中で、職員間での意見の相違があり、支援の方向性が定まりにくいことがある。	活動を選定し支援にあたる職員に任せがちになっている。各職員が個人的に作業を進める場面が多く、「チームによる支援」の体制が構築できていない。（構築中）	会議を定期的に行い、各職員の意見を聞きつつ、管理者や児童発達支援管理責任者の意見を伝えるといったコミュニケーションを地道に重ねる。 イベントなどをチームで企画する。
2	1年目ということもあり、活動プログラムがまだまだ少ない。 「4つの基本活動」のうち、「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」が手薄になっている。	職員の数の問題もあり、外に出かける活動を躊躇しがち。 「4つの基本活動」について、職員で共有できていない。	職員全体で協力しあい、外出しての活動を増やしていく。 活動の選定にあたって、「4つの基本活動」を踏まえた計画を進める。
3	家族支援が不十分。	保護者との面談を定期的に行えていない。 ペアレント・トレーニングや保護者参加のイベントを行えていない。	保護者面談を早期に計画し、実施する。 児童発達支援で実施している保護者参加行事を放デイも一緒にやり、交流を図る。